

女性活躍・働き方改革セミナーの開催【茨城県】

総事業費	2,486千円
交付金額	1,219千円

地域の実情と課題

- ◆女性管理職割合は増加傾向にあるが全国的に見るとまだ低い
県内企業における女性管理職候補の育成(R1本県調査)
 - ・育成に取り組んでいない 約6割
- 県内の働く女性の就業への意識(R1本県調査)
 - ・将来管理職以上を目指したい7.3%
- ◆本県企業の大多数を占める中小企業への働きかけが必要
- ◆育児や介護により働きたくても働けていない女性がいる

目的・目標

- ◆目的
 - ・女性管理職の登用促進
 - ・働き方改革促進、女性の多様な働き方の推進
 - ・市町村における推進計画の策定促進
- ◆目標
 - ・いばらき女性活躍・働き方応援協議会会員企業数
:1,200社(R7年度末)→763社(R4年度末)
 - ・市町村推進計画策定数:44市町村(同上)→43市町村(同上)

事業の特徴

- ◆女性管理職の登用促進に重点化し、企業及び女性自身に対し、登用促進のための働きかけや支援を行う。
- ◆現在の働き方の多様化に対応する企業の働き方改革の促進や、女性の新たな働き方に向けた支援を行う。

連携団体

「いばらき女性活躍・働き方応援協議会」
 構成団体:茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会
 茨城県商工会連合会、茨城県中小企業団体中央会
 連合茨城、茨城労働局、茨城県社会保険労務士会
 茨城県

事業の効果

- ◆事業の効果
 - ・女性リーダー表彰やシンポジウムの開催により企業経営者や管理職の女性活躍に向けた理解が向上した。
 - ・女性管理職育成研修の実施により女性自身のキャリアアップに向けた意識向上、不安が解消された。
 - ・テレワーカー養成研修の実施により育児や介護との両立に悩む女性の就業を促進した。

今後の課題

- ◆女性の登用を促進するため企業経営者の意識改革と合わせて女性自身の意識改革や人材育成等の支援が必要
- ◆誰もが働きやすい環境づくりを促進するため、働き方改革の推進が必要
- ◆介護や育児等により働くても働けない女性や、コロナ禍で非正規雇用で働く女性の失業が増加していることから、デジタル分野の業務を在宅で行うことのできる新たな働き方の推進が必要

事業の概要

○取組概要

女性リーダー育成の必要性を訴えた講演や、先進的な取組をしている企業をパネリストに迎えたトークセッションなど、経営者及び労働者の意識を醸成するシンポジウムを開催。

○取組実績

・開催日：令和5年2月9日（木）

・内容：

①女性リーダー登用先進表彰企業の紹介

②基調講演 講師：菊間千乃氏（弁護士）

③トークセッション

【ファシリテーター】

小室 淑恵氏（株）ワーク・ライフバランス）

【パネリスト】

菊間 千乃氏（講演講師）

仁衡 琢磨氏（ペンギンシステム（株））

勝沢 賢一氏（サイボウズ（株））

谷萩 寛子氏（株）トレンディ茨城）

・視聴者数：会場参加者 105名

ライブ視聴者数 229名



菊間氏の講演



トークセッションの様子